

2023 年度 事業報告書

2023 年度事業報告

1. はじめに

設立から 8 年目を迎えた 2023 年度、私たちを取り巻く外部環境は前半ではコロナ渦の影響を受けていましたが、後半は社会の活動がほぼ正常化し、山・自然関係のイベント等が活発になって来ました。人的・資金的リソースの制約をかかえる当協議会ではありますが、山と自然に関連する多様な事業領域で、次のステージへ引上げる必要な活動を継続してきました。

現有のリソースで国民の祝日推進を行うには、活動の優先順位を的確に設定し、実行をとまなう運営が必要です。小さな事象ではありますが、2023 年度後半の活動の中に幾つかのポジティブな進展がありました。これらのモメンタムを、2024 年度以降の活動への弾みになるよう進化させていきます。

祝日「山の日」が、国民そして社会に貢献するものになるために、組織の基礎、活動の基礎作りを進め、活動レベルを拡大する努力を継続していきます。

2. 事業

1) 「山の日」全国大会開催を推進し、継続し「山の日」の趣旨の浸透を図る事業

第 7 回「山の日」全国大会おきなわ 2023 では、実行委員会及び運営委員会の主要構成員として滞りなく開催されるよう運営ノウハウを主導的に提供することと、当会として、事前 PR 目的も含めて 150 本超の沖縄関連記事を HP に掲載することなどで、当該全国大会を成功裏に導く活動が出来ました。

第 8 回「山の日」全国大会 TOKYO 2024 においても、実行委員会及び運営委員会の主要構成員として行動しています。既に 2024 年 3 月 2 日の JR 奥多摩駅周辺でのプレイベント開催他、幾つかの盛上げイベントに参加し、2024 年 8 月 11 日に開催する全国大会に向け準備活動をしています。

2025 年の全国大会開催に際しては、開催地立候補の呼びかけ、開催申請書取りまとめ、選定及び決定作業を行い、福井県での開催が決定しました。

2026 年以降の「山の日」全国大会については、この催事が継続して開催されるよう、超党派「山の日」議員連盟、関係機関等の協力を仰ぎながら、開催地立候補を促す活動に尽力しています。

2) シンポジウム・フォーラム等の開催事業

2023 年度は大きな主催事業は行いませんでしたが、幾つかの 2024 年度開催事業に主催・共催として主体的に関与していくため、企画および調整を行ないました。その結果、2024 年度後半に当会主催で、「『山の日』と健康」（仮題）をテーマとしたフォーラムの開催を予定しております。また第 10 回夏山フェスタ(2024 年 6 月 8・9 日)、第 7 回夏山フェスタ in 福岡 2024(2024 年 6 月 22・23 日)、ぐんま山フェスタ(2024 年 10 月 26・27 日)には共催として参画します。

3) 広報及びインターネットによる情報発信事業

ホームページの大幅更新から 3 年目、投稿内容は地域・分野ともに大きく拡大することが出来ました。結果ホームページアクセス数は大幅に増大し、6 月には単月最高 44,000 件のアクセスを記録しました。2023 年 11 月に電子ブック機能を追加し、ホームページを進化させました。コンテンツ編集から投稿までを自身で行う通信員及びボランティアでコンテンツ編集作業を支援して頂く人員の増強を図り、投稿増加への対応とりました。

4) 催事開催及び各地の活動団体との連携事業

事業委員会委員の協力と各地の活動団体との連携強化を図ることで全国各地のイベント等への祝日「山の日」をデザインした「のぼり旗」や横断幕等の掲出を大幅に増加することが出来ました。

3. 組織

科学委員会、組織・戦略委員会、事業委員会を立ち上げ、事業活動の拡大に向けての大きなステップとしました。

公益的事業を永続させるためには不可欠の公益法人認可申請を 2023 年 12 月 27 日に行ない、現在、審査を受けています。

4. 収益面

オフィシャルパートナー様のうち 2024 年 3 月末をもって 1 社が協賛協力を継続しないこととなり 2024 年度は 4 社から 3 社になりました。設立当初からのご支援を心よりお礼申し上げます。

当会の全収益は法人・団体・個人賛助会員からの協賛金、会費及び寄附により成り立っていますが、既存会員とのコミュニケーションと当協議会の活動への理解を深めていただく活動が不足していたと反省する次第です。2024 年度には収益分野を担当する部門を設け、既存会員とのパートナーシップ強化と積極的な新規開拓活動を行っていきます。

2024 年 6 月 5 日
一般財団法人全国山の日協議会
理事長 梶 正彦

1. 事業の目的

昨年度に引き続き、定款に記載された本会の目的とする12の事業を、つぎの5つの事業分野に集約し実施いたしました。

- (1)「山の日」全国大会に関わる事業
【「山の日」全国大会】
- (2)児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
【たくましい子どもたちの育成】
- (3)山と自然を利用した、林野の利活用と水資源の保全に寄与する事業
【森林と水資源の保全】
- (4)山と自然の事故・災害の防止を目的とする国土の利用、整備の事業
【山と自然の安全と防災】
- (5)山と自然を利用した、地域社会の健全な発展に寄与する事業
【地域振興】

なお、各事業の実施にあたっては、上記の5つの分野が単体で展開されたもの、複数の事業分野を包括して展開されたものがあります。

また、これら事業の実施と並行し、運営体制の整備および強化、今後の活動を支える組織構築のため、

- (1)広報メディアの全面リニューアル
 - (2)公益財団法人への移行準備
 - (3)山に親しむ機会を醸成するための法整備推進
- をおこないました。

2. 実施概要

(1) 国民の祝日「山の日」の趣旨の浸透を図るため全国大会を開催し継続する事業

■ 第7回「山の日」全国大会おきなわ2023（沖縄県、2023年開催）

2023年8月10日11日、
「山を知り、山に感謝し、山を楽しむ
～自然豊かな南の島、沖縄から未来へ～」
をテーマに、第7回「山の日」全国大会が開催されました。
本会は実行委員会の構成員として、この大会に参加しました。
詳しくは「大会報告書」（発行日：2024年1月、発行：第7回「山の日」全国大会実行委員会）をご参照ください。
新型コロナウイルス感染防止対策として、8月10日のレセプションはアルコールの提供を控え、食事は持ち帰りのお弁当が用意され、会場の規模に相応しい出席者数に調整されました。
また8月11日の記念式典はインターネット配信を行い、全国のみなさまと祝日「山の日」を共有しました。



■ 第8回「山の日」全国大会TOKYO 2024（東京都、2024年に開催）

2024年8月11日第8回「山の日」全国大会開催予定。実行委員会構成員として開催準備に協力。

2024年2月には大会チラシが決定し、また特設ページが開設され、3月2日（土）には奥多摩駅周辺でイベントが開催されプロモーション活動が本格的に開始しました。

<https://www.yamanohi-tokyo.com/>



■ 第9回大会（2025年）以降の開催地について

「山の日」全国大会 開催基準要綱に基づき、先催県を除く都道府県に対して立候補のご意向伺いを2023年7月に発信しました。同時に全国知事会長、全国町村会長に立候補のお願いを申し添えていただけるよう文書を発信しました。

2025年の第9回大会については福井県での開催が決定しました。

(2) 広報活動事業・催事開催事業など

【広報活動事業】

■ 山の日ホームページ 「電子ブック」を新設しました

2022年12月10日、11日に開催された『国際山岳年プラス20 シンポジウムin黒部』について、報告書が完成しましたので電子ブックに収納しました。ご興味のある方が、いつ訪問されても概要を知ることが出来ます。

当日の動画も掲載しております。リアル感あふれる講演を視聴出来るように全ての講演についてアーカイブしております。

また【連載】これでいいのか登山道の連載がスタートしました。「登山道のために何ができるのか？」私たち山を愛する人たちにとっての課題について、数年前から研究活動を続け、法整備の必要性を説いている「登山道法研究会」の方々に、この課題について語っていただきます。こちらの報告書第1集と第2集を読むことができます。



【シンポジウム・イベント開催事業】

■ 国際山岳年プラス20 シンポジウムin黒部 「我ら皆、山の民」～現在と未来～

2022年の12月10、11日の2日間に渡って、富山県黒部市に所在する黒部市芸術創造センターセレネを会場として「国際山岳年プラス20 シンポジウム in 黒部 ～我ら皆、山の民 現在と未来～」の報告書が完成しました。

報告書は電子ブックにて読むことができます。

<https://www.yamanohi.net/ebooklist.php>

プログラム（開催概要）、講演、各セッションの様子はホームページで紹介しています。

<https://www.yamanohi.net/report.php?id=2498>



報告書の表紙

■ 「科学委員会」について新設しました

科学委員会は、全国山の日協議会の活動について、科学的な視点から提言、助言できる専門家によって構成される常設委員会です。



■ 「山の日」に係る催事（主催、共済、後援、協力等）

共催3件、協力6件、後援25件 合計34件

件数	2023年度行事名	開催日	開催場所	
1	第7回「山の日」全国大会おきなわ2023	8月10日（木）～11日（金・祝山の日）	沖縄県	共催
2	岳都・松本「山岳フォーラム」	4月～2024年3月	長野県	共催
3	山の日 TOKYO 2024 第8回「山の日」全国大会 プレイベント	2024年3月2日（土）	東京都	共催
4	くじゅうフェス2023 ※大会継続イベント	7月30日（日）	大分県	協力
5	「山の日」四方山祭り in 上高地 ※大会継続イベント	8月11日（金・祝山の日）	長野県	協力
6	やまなして過ごす「山の日」2023 ※大会継続イベント	8月11日祝山の日中心 5月～11月	山梨県	協力
7	モン・ブックス山の日フォトコンテスト2023	5月1日～9月1日	全国SNS	後援
8	山と渓谷社 山でチャレンジ！！応援キャンペーン2023	5月～10月	全国	後援
9	高原山開き2023	5月28日（日）	栃木県	後援
10	日本山岳ガイド協会「安全のための知識と技術 公開講座2023」	6月3日～2024年3月31日	愛知県、福岡県、東京都	後援
11	第9回夏山フェスタ 愛知	6月3日（土）～4日（日）	愛知県	後援
12	第21回ひろしま「山の日」県民の集い	6月4日（日）	広島県	後援
13	第6回夏山フェスタin福岡2023	6月24日（土）～25日（日）	福岡県	協力
14	親子で里山体験 in 高原山麓	7月16日（日）	栃木県	後援
15	第66回高頭祭および第68回弥彦山たいまつ登山祭	7月25日（火）	新潟県	後援
16	「山の安心をひろげる」プロジェクト ココヘリwebキャンペーン	8月1日（火）～3日（木）	オンライン	後援
17	令和5年度安全登山サテライトセミナーPLUS	8月11日（金・祝山の日）	富山県	後援
18	中国山地 里山の集い 風越セッション8・11	8月11日（金・祝山の日）	広島県	後援
19	2023 ふるさとの山を登ろうin九重町『崩平山』	8月11日（金・祝山の日）	大分県	後援
20	愛媛県 環境啓発親子登山2023 石鏡山系瓶ヶ森（台風中止）	8月11日（金・祝山の日）	愛媛県	後援
21	【ガイド協会公開講座】山を楽しむ、挑戦する、無事帰る！	10月3日（火）	東京都	後援
22	親子で森づくり体験 in 高原山麓	10月15日（日）	栃木県	後援
23	アミノバイタル®プレゼンツ ぐんま山フェスタ2023	10月21日（土）～22日（日）	群馬県	後援
24	国東半島峯道ロングトレイル10周年記念事業全国フォーラム	10月28日（土）～29日（日）	大分県	後援
25	第1回白門ハイクラリー	11月3日（金・祝）	東京都	後援
26	山の人×科学者でめざすネイチャーポジティブへの取組み 第2回シンポジウム	11月5日（日）	宮城県	後援
27	日本山岳ガイド協会 相模原自然ふれあい集会2023	11月13日（月）～14日（火）	神奈川県	後援
28	たかはら里山の集い2023	11月19日（日）	栃木県	後援
29	第1回 JAPAN TRAIL FORUM	11月21日（火）	東京都	協力
30	第11回大野山アウトドアふゆフェスタ	12月2日（土）	神奈川県	後援
31	立山黒部ジオパークシンポジウム	12月9日（土）	富山県	後援
32	里山学講義2024 里山と人との新しい関係性	2024年2月18日（日）	栃木県	後援
33	「山の安心をひろげるプロジェクト第2弾」ココヘリ入会キャンペーン	2024年3月1日（金）～5月31日（金）	HP、SNS等で告知	後援
34	妙義山名勝指定100周年記念イベント「みょうぎ山フェスタ」	2024年3月2日（土）	群馬県	協力

3. 山の日アンバサダー就任者について

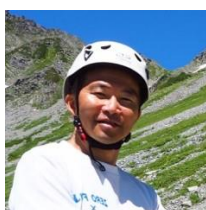
国民の祝日「山の日」の更なる周知の一翼を担っていただき、併せて当会の目的と社会的公益性を対外的にアピールして下さるキーパーソンとして、2024年3月末現在で31名の「山の日アンバサダー」にご就任いただき、本会の情報発信のサテライト機関として「山の日」の趣旨と主催事業等の告知協力、そして催事を始めとする広報活動への協力などにお力添えいただいています。



石丸謙二郎



伊藤 伴



猪熊隆之



今井香子



桜花



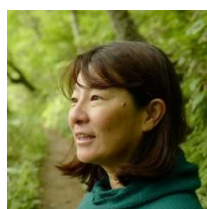
奥宮俊祐



加賀谷はつみ



片山右京



柏 澄子



角谷道弘



工藤夕貴



小林綾子



小林千穂



近藤謙司



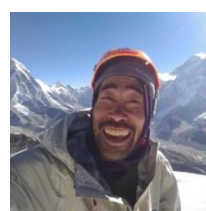
シェルパ斉藤



釈由美子



仲川希良



なすび



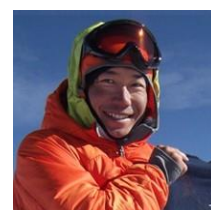
中村みつを



野口健



萩原浩司



花谷泰広



ヤマノススメ



四角友里



吉井省一



Lama Gyalu



若村麻由美



渡部暁斗



かほ



高橋勇市



田中陽希

※2023年度は新たに田中陽希さんが就任されました。

田中陽希さんプロフィール：

1983年6月埼玉県生まれ。6歳の時に北海道富良野市麓郷に移住。一年の大部分を雪と共に過ごし、大学までクロスカントリースキーに没頭する。大学卒業後、体育教員を目指す傍らアドベンチャーレースと出会い、冒険へと人生の方向転換を図る。プロアドベンチャーレースチーム『Team EAST WIND』のキャプテンとして活動中。国際レースでの最高位は、2位（2012、2013、2016、2022）。チームの目標は最も過酷な国際レースでの優勝。

2014年、前人未到の挑戦として、南は屋久島、北は利尻島までの「日本百名山ひと筆書き～Great Traverse～」7800kmの旅を208日と11時間で達成。2015年、北の宗谷岬から南の佐多岬まで、新たな100座を人力のみで繋ぎあわせる「日本2百名山ひと筆書き～Great Traverse 2～」8000kmの旅を222日で達成。2018年1月から、百名山、二百名山、三百名山の計301座を人力のみで繋ぎあわせる集大成のプロジェクト「日本3百名山ひと筆書き～Great Traverse 3～」を2021年8月2日に完遂させた。プロアドベンチャーレーサー高橋勇市さんは視覚障害の陸上競技・マラソン選手。秋田県横手市出身、三菱商事所属。2004年アテネパラリンピックマラソンの金メダリスト。2008年北京大会、2012年ロンドン大会と3大会連続出場。現在は、障害者スポーツの魅力発信、普及活動を行いながら競技と登山を続けています。

4. 賛助会員

基本財産の運用から得られる運用益が少額であることから、各種事業の財源の多くをオフィシャルパートナーの協賛金、賛助会員の会費に求めています。

事業の実施、事務局機能の維持のため、持続的な財源確保は重要な課題であり、賛助会員入会、オフィシャルパートナー就任については尚一層努力し、会費収入を増加させるために関係者にご協力をお願いするとともに、役職員一丸となって入会者を増加させる活動を行っております。

なお、現在オフィシャルパートナーとして、味の素株式会社様、株式会社ゴールドウイン様、日清食品ホールディングス株式会社様、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー様にご協賛をいただいております。

2024年3月末現在の賛助会員数は次のとおりです。

■オフィシャルパートナー

味の素株式会社、株式会社ゴールドウイン、日清食品ホールディングス株式会社、株式会社マツキヨココカラ&カンパニーの4社

なお、株式会社ゴールドウイン様は2024年3月末をもってオフィシャルパートナーを離脱されました。長きに渡るご支援に改めまして感謝申し上げます。

■団体会員については【資料1】 団体会員の概要をご覧ください

団体賛助会員	120団体（10団体増加）
個人賛助会員	353名

■多くの方々からご寄付をいただきました。

2024年3月10日時点での寄附額は892,000円でした。

この場をおかりしまして心よりお礼申し上げます。

誠にありがとうございました

オフィシャルパートナーおよび団体会員のご紹介

120団体の内訳は下記の通りです。(2024年3月31日現在)

■ オフィシャルパートナー：4社

味の素株式会社
株式会社ゴールドウイン
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

■ 特別団体会員（3口以上）：21団体

味の素株式会社、株式会社アドベンチャーガイズ、アルピコホールディングス株式会社、株式会社インテリジェント ウェイブ、OMC株式会社、AUTHENTIC JAPAN 株式会社、キリンホールディングス株式会社、株式会社コロニアスポーツウェアジャパン、株式会社ゴールドウイン、株式会社スワニー、電気事業連合会、東海旅客鉄道株式会社、株式会社長野銀行、日清食品ホールディングス株式会社、日精エー・エス・ビー機械株式会社、日本勤労者山岳連盟、公益社団法人日本山岳会、日本山岳救助機構合同会社、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー、株式会社モンベル

■ 地方公共団体会員（1口または2口）：31団体

大分県、沖縄県、岐阜県、栃木県、鳥取県、富山県、長野県、山形県、山梨県（9県）
安曇野市、大宜味村、大町市、小谷村、上山市、川上村、国頭村、甲府市、九重町、塩谷町、大山町、高山市、竹田市、竹富町、丹波山村、那須町、白馬村、早川町、東村、松本市、山形市、遊佐町（22市町村）

■ 団体会員（1口または2口）：68団体

アルパインツアーサービス株式会社、イワタニ・プリムス株式会社、学校法人インディアインターナショナルスクール学園、International Society of Nature and Forest Medicine、インフカム株式会社、株式会社エイアンドエフ、大崎上島「山の日」神峰山、岡谷商工会議所、奥飛観光開発株式会社、上高地観光旅館組合、カリマー インターナショナル株式会社、株式会社カンセキWILD-1、関東自動車株式会社、キーン・ジャパン合同会社、北アルプス北部山小屋組合、北アルプス山小屋友交會、ぐんま山フェスタ実行委員会、京王電鉄株式会社、株式会社好日山荘、国際自然環境アウトドア専門学校、西条・山と水の環境機構、(株)JTB東京多摩支店、一般財団法人自然公園財団、株式会社下野新聞社、JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD運営委員会、株式会社スペーススキー、株式会社総合サービス、大東カカオ株式会社、高尾登山電鉄株式会社、立山山荘協同組合、谷川岳エコツーリズム推進協議会、株式会社タタカ、株式会社中部経済新聞社、超党派「山の日」議員連盟、筑波大学山岳科学センター、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、東京山岳ガイド協会、有限会社徳澤園、株式会社トラベルギャラリー、株式会社ナカニシヤ出版、中村社会保険労務士事務所、一般社団法人 日本アルプス ガイドセンター、公益社団法人日本環境教育フォーラム、公益社団法人日本山岳ガイド協会、日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社、一般社団法人日本秘湯を守る会、特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会、飛騨山小屋友交會、ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、株式会社 finetrack、特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会、富士急行株式会社、特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議、株式会社ベネクス、細谷火工株式会社、株式会社ボルテージコミュニケーションズ、株式会社毎日企画サービス、MAMMUT SPORTS GROUP JAPAN 株式会社、株式会社ミウラ・ドルフィンズ 三浦雄一郎、ミズノ株式会社、ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社、株式会社山と渓谷社、一般社団法人 山と水と緑の会、山梨大学山岳科学特別教育プログラム、Yamanashi MTB 山守人、山梨銘醸株式会社、槍ヶ岳観光株式会社、雷電株式会社

5. 評議員、理事、監事の紹介 2024年3月現在

【評議員 14 名】

評議員	青柳 正規	多摩美術大学理事長 元文化庁長官
評議員	安住 淳	衆議院議員 超党派「山の日」議員連盟副会長
評議員	今井 通子	医師 国際自然森林医学会会長
評議員	尾上 昇	公益社団法人日本山岳会 元会長
評議員	鹿野 勝彦	金沢大学名誉教授
評議員	城崎建太郎	弁護士
評議員	高野 孝子	特定非営利活動法人 ECOPLUS 代表理事
評議員	武田 健二	コランダム・イノベーション(株) 共同創業者取締役 元理化学研究所理事
評議員	竹村公太郎	特定非営利活動法人日本水フォーラム 代表理事
評議員	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団 専務理事
評議員	本郷 浩二	一般社団法人全国木材組合連合会 副会長
評議員	丸川 珠代	参議院議員 超党派「山 https://www.yamanohi-tokyo.com/ の日」議員連盟 幹事長
評議員	水野 正人	ミズノ株式会社 相談役会長
評議員	安成 哲三	総合地球環境学研究所 前所長

【理事 14名 監事 2名】

理事	会長	谷垣 禎一	元衆議院議員
理事	副会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	副会長	衛藤征士郎	衆議院議員 超党派「山の日」議員連盟 会長
理事	副会長	橋本 岳	衆議院議員 元厚生労働副大臣
理事	副会長	務台 俊介	衆議院議員 元環境副大臣兼内閣府副大臣 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
理事	理事長	梶 正彦	タタ・コンサルタンシー・サービスズ・ジャパン株式会社 前会長
理事	常務理事	三木 健一	株式会社インテリジェントウェイブ取締役 元大和証券常務取締役副管理本部長(システム部門等担当)
理事	常務理事	小林 正樹	元日本アイ・ピー・エム(株)技術理事 元レノボ・ジャパン(株)常務執行役員
理事	事務局長	手塚 友恵	公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事
理事		加藤銀次郎	一般財団法人自然公園財団 上高地支部 所長
理事		佐野 忠則	公益社団法人日本山岳会 監事
理事		古川 研吾	公認会計士 公益社団法人日本山岳会 元公益法人運営委員
理事		望月 賢司	弁護士 望月賢司法律事務所代表
理事		吉川 正幸	公認会計士 日本山岳会高尾の森づくりの会代表
監事		中村 達	特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会 代表理事
監事		長谷川臣介	公認会計士



一般財団法人
全国山の日協議会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10-5 ハツ橋ビル 301号室

TEL 03-5315-0652 FAX 03-5315-0653

メール office@yamanohi.net URL <https://www.yamanohi.net>